

感染症に気をつけよう!

2022年【6月号】



横浜市内の感染症 流行状況

5月27日
発行

感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
新型コロナウイルス感染症*	大流行	やや減少	ゆるやかに減少傾向ですが、小児を含めた幅広い年齢層での感染がみられます。【 '22.5号 】
梅毒**	発生	横ばい	報告数の比較的多い状況が、継続しています。20代女性の例も報告されています。【 チラシ 】

国立感染症研究所*

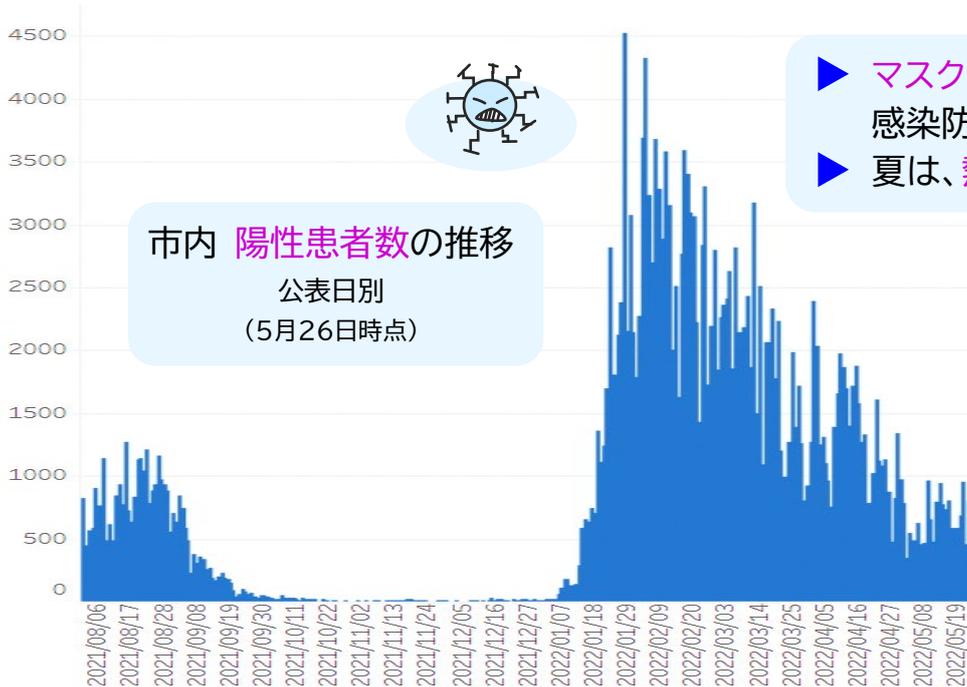
厚生労働省**

横浜市衛生研究所【感染症情報センター】

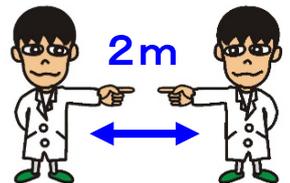
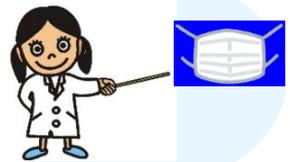
今、気をつけたい感染症



新型コロナウイルス感染症



- ▶ マスクを着けることは、基本的な感染防止対策として**重要**です。
- ▶ 夏は、**熱中症**にも注意しましょう。



▶ 屋外では、人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合や、距離が確保できなくても、ほとんど会話しない場合は、

▶ 屋内では、人との距離が確保できて、かつ、ほとんど会話しない場合は、

マスクを着ける**必要はありません**。**